

題名 私たちのくらしから生まれるゴミ ～学校のゴミ～

1. 学習のねらい

子どもたちが通っている学校でも毎日、たくさんのゴミが生まれています。そこで、次のような調査活動を通して学校での生活を見直し、ゴミを減らそうという意識を高めます。

- (1) 学校では、どのようにしてゴミが生まれてくるのか調べます。
- (2) 教室や廊下、職員室にゴミ箱が置かれている場合、たまったゴミはどのようにになっていくのか調べます。
- (3) 学校で一度所定の場所に集められたゴミは、その後どのようにになっていくのか調べます。

2. 実施について

- (1) 実施時期：1年を通して可能
- (2) 実施場所：教室、校内
- (3) 指導時数：5時間
- (4) 指導対象：中学年

3. 準備するもの

- (1) ワークシート
- (2) 各市町村指定のゴミ袋
- (3) ごみ回収のチラシ

4. 学習の進め方

- (1) 教室で何気なくゴミ箱に捨てているゴミについて、どんなものが多く捨てられているのか話し合います。

質問例： 今日、教室でどんなものを捨てたかな。
どんなものがゴミになるのかな。

- (2) 教室で自分がゴミと思っていなくても、ゴミとなっているものはないか話し合います。

回答例： 給食の食べ残し
教室や校内の落とし物コーナーの品物
その他・・・。

以下、ワークシートを利用して学習を進めます。

- (3) 運動場や中庭などでゴミを見かけませんか。見かけた経験や品物について、ゴミの種類や場所、落ちている理由などを調べます。(表1)
- (4) 教室から1日にどれくらいゴミが出るのか調査します。(表2)
- (5) 学校全体で1日に、また1週間にどのくらいゴミが出ているのか調査します。

(表3・表4)

期間を決めて学校所定のゴミ置場でゴミ袋の数を調べます。

個数だけでなく、バネばかりなどを使って重さも調べてみます。

このようにして、一週間で、曜日によるゴミの量の違いを調べることができます。

各市町村専用のゴミ袋には、絵や文字が描かれていませんか。何を描いているのか、また、ゴミ袋の大きさや色はどうなっているのか調べます。

- (6) あなたの学校では、ゴミの収集はどのようになっていますか。学校のゴミ置場に集められたゴミの行方を調べます。

ゴミの収集日

ゴミの分別回収方法

- (7) 調査活動を通して学習したことをまとめます。
 教室から生まれるゴミについて考えます。
 学校全体から生まれるゴミについて考えます。
 学校から生まれるゴミは予想以上に多いことを確認し、ゴミを減らす工夫を考えます。

5. 指導上の工夫・留意点

- (1) みんなで考えたゴミを減らす工夫をもとに一定期間実践し、後日、再度調査することによってその成果を振り返り、評価し合うのもよいでしょう。
- (2) 学校に焼却炉が壊されずに残っていませんか。以前は学校で生まれたゴミの大半は、学校の焼却炉で燃やしていました。今では、学校で燃やすことはできません。もし、学校に焼却炉が残っていれば、それを見て、ゴミを燃やせなくなった理由について学習します。
- (3) 学校の地図等があれば学習前に準備しておきます。これを学校内のゴミマップにすれば、どこでどのようなゴミをよく見かけるのか、よく分かります。
- (4) 事前に清掃関連事業事務所と打ち合わせしておき、ゴミ収集車（パッカー車）と運転手の方を学校に招いて学習することもできます。

【ワークシート】 ～学校のゴミウォッチング調査用紙～

表1 : 運動場や中庭などに落ちていたゴミ

月 日 () 時ごろ 天気 年 組

落ちていた場所	ゴミの品名 (種類)	理由として考えられること
例) 運動場ブランコの近く	例) キャンデーのふくろ	

表2 : 教室から生まれるゴミ

月 日 () 天気 年 組

品 名	種 類	もえるゴミ	重さなど
例) 色 紙	例) 紙	○	軽い

表3 : 学校全体から生まれるゴミの量

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
ゴミぶくろの個数	個	個	個	個	個
ゴミの重さなど					

表4 : ゴミぶくろをよく見てみましょう

ゴミぶくろの特ちょう	調 べ た こ と
色	
大 き さ	
絵 や 文 字	
その他の特ちょう	